

ストック
Mathiola incana
 (アブラナ科)

1年草で種子繁殖し、苗の段階で一重咲きと八重咲きの鑑別をする。花色は濃い黄色やオレンジ以外はすべてある。強い芳香を発する。仕事花として広く利用され、特に短茎の品種は仏花としての利用が多い。夏季の生産は少ない。花卉や茎葉が萎れて日持ちが終了する。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎れ・褐変	A: 発生なし B: 第1花が萎れる 全小花の C: 1/3が老化する D: 1/2以上が老化する	小花の老化は、A: 萎れ・褐変なし、B: 花卉の周縁部がわずかに萎れる(巻き込む)、C: 花卉全体が萎れる、D: 花卉周縁部が褐変するとして判定する。C、Dの小花を老化したと判定する。
茎葉の黄変	A: 黄変なし B: わずかに黄変する C: 茎葉全体に黄変が広がる D: 茎葉全体が激しく黄変する	ジベレリンを前処理すると黄変が抑制される。
茎葉の萎れ	A: 萎れなし B: やや萎れる C: 激しく萎れ葉が垂れ下がるが、切り戻すと回復する D: 激しく萎れて葉が垂れ下がり、花穂もしだれ、切り戻しても回復しない	
軟弱茎	A: 直立する B: ややしなる C: しだれる D: 折れる	
その他	花穂の徒長、花色の退色、奇形花(突き抜き)など。	

2) 留意点

先端にわずかに蕾が残る程度の切り前で品質評価を開始する。
 いけ水につかる部分の葉は取り除く。
 葉が激しく萎れた段階で切り戻す。

3) 開花





4) チェック事項

